

第45号(2018年度)



# 国際親善ニュース



金沢市代表団ナンシー派遣 姉妹都市提携45周年記念合意書調印



姉妹都市提携45周年記念 加賀鳶はしご登り団ナンシー市派遣

**金沢市姉妹都市交流委員会**

2018年は、金沢市代表団の派遣のほか、種々の記念事業を通じて両市の関係団体との相互交流に弾みがついた年となりました。

**庭園交流**

ナンシー市役所前の世界遺産スタニスラス広場において、金沢の市章を模した創作庭園を設置したほか、金沢市庁舎前広場でも仮設庭園を設置しました。庭園を通じて、両市民に互いの文化を紹介する良い機会になりました。



日本風創作庭園



フランス風創作庭園

●日本風創作庭園

- 設置場所 スタニスラス広場
- 設置期間 9月29日から11月11日まで
- 特徴等
  - ・日本及び金沢をテーマに制作
  - ・外周を竹垣で囲い、雪吊りを設置

●フランス風創作庭園

- 設置場所 金沢市庁舎前広場
- 設置期間 10月20日から11月25日まで
- 特徴等
  - ・ヴェルサイユ宮殿庭園の幾何学模様をイメージ
  - ・国際交流員がアール・ヌーボーの芸術様式等を紹介

**金沢市代表団 ナンシー市訪問**

2018年11月29日から12月2日の日程で、山野之義金沢市長以下5名の代表団がナンシー市を訪問しました。

ナンシー市役所で、提携45周年記念セレモニーが開かれ、ロラン・エナル ナンシー市長と山野市長が今後の交流の方向性を確認する合意書に署名し、両市の絆をより強固なものとしたほか、エナル市長から山野市長へこれまでの交流への感謝の意を表すゴールドメダルが授与され、山野市長からエナル市長には姉妹都市交流への功績を称え特別名誉市民証を贈呈しました。

一行は滞在中、ナンシー市最大のイベントである「聖ニコラ祭」を視察したほか、様々な提携45周年記念関連イベントにも、エナル市長らとともに参加し、関係者との交流を深めました。

なお、これに先立ち金沢市代表団は、イタリア・ローマ市にて「かなざわ講座 in ローマ」を開催し、現地観光業者らに工芸や街並みの魅力を紹介しました。また、山野市長はバチカン市国でローマ・カトリック教会のフランシスコ法王に謁見し、金沢市をPRしました。本市が福者である高山右近ゆかりの地であることを話すと、法王からは強い関心を寄せられました。

その後、代表団はローマを立ち、 Gent 市を訪問しました。

(主な日程)

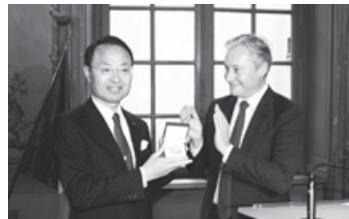
- 11/27 イタリア・ローマへ (移動日)
- 11/28 ローマ法王謁見  
「かなざわ講座 in ローマ」開催
- 11/29 ローマ市発 Gent 市へ  
Gent 市役所にて歓迎レセプション  
Gent 市発ナンシー市へ
- 11/30 提携45周年記念セレモニー  
ナンシー市長表敬訪問  
消防関係者との意見交換  
かなざわにちふつこうかいこうりゅうかい  
金沢日仏協会交流会  
食文化交流
- 12/1 能楽披露、はしご登り披露、パリへ移動
- 12/2 帰沢 (移動日)



ローマ法王に謁見  
© Servizio Fotografico - Vatican Media



エナル市長へ  
特別名誉市民証贈呈



山野市長へゴールドメダル授与

**加賀鳶はしご登り披露**

金沢市内の消防団員から土谷守第一消防団団長、澤飯英樹第二消防団団長、鍋谷有介第三消防団団長をはじめとする23名を選抜し、「加賀鳶団」を結成し、聖ニコラ祭のメインイベントの一つとして加賀鳶はしご登りを披露しました。青空の見える天候にも恵まれ、両市長ほか多くの観客が見守る中、2018年に発祥300年を迎えた加賀鳶の心意気を示す27種の妙技が、世界遺産を舞台に次々と繰り広げられ、詰めかけた観客からは大きな拍手が巻き起こりました。



加賀鳶はしご登り披露

開催日 12月1日(土)、2日(日)  
 [聖ニコラ祭メイン週末(12月第1土、日)]  
 計8回披露

会場 スタニスラス広場

# 提携45周年記念事業

## 食文化交流

ナンシー市観光客を呼び込めるよう日本食の魅力を磨きたうとのエナール市長の要請を受け、高木慎一郎さん（錢屋主人）を団長とする食文化団を派遣しました。一行は、ナンシー



治部煮を試食する両市長

市内9つのレストランでシェフの協力により現地のお客さんに郷土料理の治部煮と日本酒を提供しました。初めて食べる治部煮に、「美味しい、ワインに合う」などと好評を得ました。同時に振る舞った日本酒については、「思っていたより飲みやすい」という感想が多く聞かれました。

開催日 11月30日（金）～12月2日（日）

会場 ナンシー市内の9レストラン

### 食文化団メンバー

利岡祥子さん、久保一樹さん、中川幸文さん、細野悠司さん

## 能楽披露・能面調査

金沢能楽会から住駒幸英さんを団長とする能楽団を派遣し、能楽の解説と上演、合わせて能面の着用体験を実施しました。観客からは能楽の演舞に大きな拍手が送られました。能面の着用体験では、多くの方が、重厚な加賀宝生の世界に触れました。合わせて行ったナンシー市美術館に収蔵されている能面の調査では、藩政期に作られた宝生流ゆかりの名品が見つかりました。

開催日 12月1日（土）、2日（日）

会場 ナンシー市美術館

## 能楽団メンバー

高橋右任さん、室石和夫さん、麦谷暁夫さん、山内麻衣子さん（金沢能楽美術館学芸員）



能楽披露

## 金沢日仏協会とロレーヌ仏日協会による交流会

ナンシー市民に日本及び金沢の文化を紹介するため、小間井孝吉会長をはじめ金沢日仏協会員20名がナンシー市を訪問し、呈茶、しふく作りのワークショップ、浴衣の着付けを行いました。イベントは大盛況で、訪れた方々は日本・金沢で培われた伝統文化に高い関心が寄せられました。

開催日 11月30日（金）

会場 ナンシー市 コンデ校



しふく作りのワークショップ

## フランスウエイトリフティング連盟との事前合宿の実施に関する協定締結

2018年5月15日、フランスウエイトリフティング連盟のジャン＝ポール・ブルガリデス会長が、金沢市役所を訪れ、山野市長と2020年東京オリンピックでのウエイトリフティングフランス代表チームの事前合宿を金沢で行うことを定めた協定を締結しました。

協定書には、東京オリンピック開催までの間に若手選手の合宿を金沢で行うことや、人的・経済的・スポーツ的・文化的な相互交流を実施すること、オリンピック事前合宿終了後も継続して交流に努めることなども盛り込まれています。



協定締結後の記念撮影

### 〔主な日程〕

- 5/14 来沢
- 5/15 金沢市総合体育館視察、協定書締結式、宿泊候補先視察
- 5/16 市内視察
- 5/17 離沢

## ナンシー市、ゲント市長が日本・本市との交流などで表彰 ナンシー市助役が旭日小綬賞を受賞

ナンシー市は、日本とフランスの相互理解を促進した功績により、2018年11月30日外務大臣表彰が授与されました。

また、ナンシー市のジャン＝ミッシェル・ベールモン助役には、本市との交流推進や日仏自治体交流会議でのフランス側自治体のとりまとめの功績などにより、同日いずれも佐藤隆正在ストラスブル日本国総領事から授与されました。

さらに、ゲント市のダニエル・テルモント市長に対し、日本とベルギーの友好関係と本市との活発な交流に貢献されたことにより、2018年10月3日に林肇在ベルギー日本国大使より授与されました。

受賞者の皆さんの今後のご活躍を祈念し、本市とフランス及びベルギーの姉妹都市交流に携わってきた皆さんと喜びを分かち合いたいと思います。

# KANAZAWAかがやき大学講座を開催！

2018年8月22日から23日までの日程で、日本人学生7名、留学生6名、国際交流員5名の計18名が参加し、初めて「KANAZAWAかがやき大学講座」を開催しました。国際感覚を持つ人材育成を目的に、留学生や国際交流員と「かがやき発信講座」などを通じ金沢の魅力について学ぶとともに、三者の交流を育み本市へ愛着を深めてもらうこととしていきます。

「かがやき発信講座」のテーマは、市内に約6千棟が残る「金澤町家」とし、「金澤町家学生会議」に参加する学生と連携して実施し、学び、視察、さらには発表までを共同活動により行い、金沢の歴史的文化遺産である金澤町家の活用や活性化について考えました。

初日は、金沢学生のまち市民交流館を主会場とし、事業

日付	時間	内容
8/22 (水)	10:00	開会式（課長挨拶）・オリエンテーション
	11:00	かがやき発信講座受講
	13:30	金澤町家視察（東山周辺）
	16:00	グループ別活動（金澤町家の活用や活性化を検討）
	夜間	グループ別活動（金澤町家の活用や活性化を検討） 旅館にて宿泊
8/23 (木)	9:00	グループ別活動、リハーサル
	10:30	成果発表会（市長挨拶）
	12:00	交流昼食会

グループ名	発表タイトル	人数
群青 - Ultramarine -	・町家をもっと身近なものに	日本人学生2名 留学生2名 国際交流員2名
海鮮トマト探検隊	・町家体験型 スタンプラリー ・町家での民宿運営と その統合管理組織の構築 ・プチ改造!! 町家アフタービフォー	日本人学生2名 留学生2名 国際交流員2名
マチャブシ	・金澤町家の活用と活性化	日本人学生3名 留学生2名 国際交流員1名

説明の後、自己紹介し、続いて、石浦歴史都市推進課町家保全活用室長を講師に「かがやき発信講座」を受講しました。その後、東山にて、一級建築士の北出氏からの解説を受けながら金澤町家を視察し、増田金沢工業大学建築学部建築学科教授の指導の下、グループ別に町家の活用などを検討しました。

2日目は、金澤町家情報館を主会場とし、グループ別のリハーサルに続いて、豊島石川工業高等専門学校建築学科助教を講師にお迎えして、成果発表会を行いました。山野市長の挨拶に引き続き、各グループが金澤町家の活用や活性化について発表し、各グループは交流しながら、多くのアイデアや具体的な提案を発表することができました。



かがやき発信講座受講



金澤町家視察



グループ別活動



成果発表会で挨拶する山野市長



成果発表会



記念撮影

# 外国人の防災関連情報！

## 外国人住民が新神田校下・市民防災訓練で活躍

2018年6月24日に第22回新神田校下市民防災訓練が、新神田小学校ピロティ及び体育館等を会場として行われました。

今回は、北陸大学と連携し、北陸大学留学生5名と市国際交流員3名の計8名の外国人市民が訓練に参加しました。参加者は、「避難所多言語対応冊子」や「多言語対応金沢救急アプリ」の説明を受け、医療関係者や救急隊員とのロールプレイングなどを行いました。最近、外国人住民の災害に対する意識が高まっており、参加者は意欲的に訓練に参加していました。



AEDで応急処置を体験



「多言語対応金沢救急アプリ」を体験

また、今回初めて、北陸大学、金沢国際交流財団、県・市日中友好協会など国際交流団体と連携した事業として、災害情報を連絡して情報共有を行う訓練を実施しました。

## 金沢市初の外国人防災士が誕生

本市国際交流員で韓国出身の林慧娟さんが2018年12月の防災士資格試験に合格し、金沢市内で初の外国人防災士になりました。今後は、災害時に市防災本部などが発信する情報の翻訳を手掛けるほか、留学生対象に防災講座の企画などに取り組みます。



応急手当をする林防災士



はしご車体験訓練を受ける林防災士

# 外国人と日本人が支え合う地域を目指して 多文化共生シンポジウムを開催

2018年9月22日、石川県留学生交流会館（もりの里）を会場に「多文化共生シンポジウム」を開催しました。

金沢で暮らす外国人は、年々増えており、日本人住民と外国人住民が地域の一員として、多文化共生を共に考える機会として、初めて開催しました。このシンポジウムでは、講演や事例紹介、パネルディスカッションを通じて、外国人、日本人ともに住みやすい地域コミュニティとはどのようなものかを、会場に集まった90人の日本人・外国人住民が考えました。また、シンポジウムの最後にはNPO法人YOU-Iメンバーが出身国の飲み物を紹介する「多国籍カフェ」を開催し、参加者同士が飲物を片手に会話を楽しみ、交流を深めました。



パネルディスカッション「外国人も安心して暮らせるまちづくり」

## 多文化共生シンポジウム

1 基調講演「多文化共生社会の今、そしてこれから」

講師：一般財団法人ダイバーシティ研究所

代表理事 田村太郎

2 事例紹介 田上公民館

3 パネルディスカッション

「外国人も安心して暮らせるまちづくり」

(登壇者)

田上公民館館長 関戸正彦

(公財)金沢国際交流財団執行理事兼事務局長 北村誠広

金沢大学留学生支援地域アドバイザー

ヒクマ・バルベイド

金沢大学中国人留学生学友会会長 高遠

(モデレーター) 田村太郎

4 交流会「多国籍カフェ」(協力：NPO法人YOU-I)



交流会「多国籍カフェ」

# 多文化共生事業

## 多言語電話通訳サービスの拡大

本市では、2015年5月より、外国人住民と市職員との窓口でのコミュニケーション支援として、多言語電話通訳サービスを導入しています。対応言語や導入窓口も随時拡大し、外国人対応サービスの向上に努めています。

【対応言語】 英語、中国語、韓国語、スペイン語、ポルトガル語、タイ語、ベトナム語

【導入窓口】 市役所内窓口(12)、市民センター(14)、福祉健康センター(3)、市立病院(1)、金沢広域急病センター(1)、保育所(1)(32箇所)

## 国際交流員による語学研修

外国人観光客が増加するなか、安全・安心なまちづくりを推進する一環として、消防局職員の外国語能力の向上を図ることを目的として、外国語研修を開催しました。

消防実務韓国語会話研修

林慧娟国際交流員(韓国)

9/20、21 第1回

12/19、20 第2回

1/22、23 第3回

2/18、19 第4回



# 国際交流特使養成塾の開催

留学生等を対象に、金沢の文化等を講義や体験を通じて学ぶ「国際交流特使養成塾」を通年で開催しています。

## 1. 金沢市国際交流特使の概要

「金沢市国際交流特使」は、帰国後もSNSや現地でのイベント等で、海外への金沢の魅力発信を担ってもらうことを目的とした制度です。「国際交流特使養成塾」を修了した留学生は、「金沢市国際交流特使」として金沢市長より任命されます。

### 特使養成塾受講留学生の国籍別内訳 (平成31年2月1日現在)

	計
中国(台湾含む)	33人
タイ	9人
ベトナム	9人
カンボジア	4人
その他	17人
計	72人

## 2. 講座内容

- 第1回講座 平成30年5月13日(日)  
 テーマ: 金沢の茶の湯文化に触れよう  
 内容: 和菓子づくり体験、抹茶自服体験
- 第2回講座 平成30年5月20日(日)  
 テーマ: 歴史ある高校相撲大会を見学しよう  
 内容: 金沢と相撲の関わりについての講話、高校相撲金沢大会観戦
- 第3回講座 平成30年6月30日(土)  
 テーマ: 湯涌地区の伝統行事「氷室開き」について学ぼう  
 内容: 氷室雪氷切り出し等の見学

- 第4回講座 平成30年9月24日(月・祝)  
 テーマ: 金沢の発酵食文化について学ぶ!  
 内容: 醤油・味噌製造工場の見学、

- ディスカッション
- 特別講座 平成30年11月3日(土)  
 テーマ: 加賀野菜「加賀れんこん」について知ろう  
 内容: 加賀れんこんの収穫体験、試食

- 第6回講座 平成31年1月12日(土)  
 テーマ: 能楽について知ろう  
 内容: 金沢能楽美術館見学、観能の夕べ鑑賞

- 第7回講座 平成31年3月16日(土)  
 テーマ: 香道について知ろう  
 内容: 匂い袋づくり、金澤町家情報館見学



第4回養成塾 金沢の発酵食文化について学ぶ

2018年7月31日、特使養成塾を受講した留学生のうち9月に留学を終え帰国する2名(タイ、アメリカ)を国際交流特使として任命しました。同様に、2019年3月18日、養成塾受講留学生のうち3月に留学を終え帰国する1名(中国)を国際交流特使として任命したことにより、本市の国際交流特使は55名となりました。

## 海外向け情報発信チーム「虹の会」

国際交流員5名などで構成する海外向け情報発信チーム「虹の会」は、平成29年3月に結成して以来、年間をとおり金沢市観光協会が運営する多言語Facebookページに、自ら体験した金沢の魅力や英語、フランス語、中国語、韓国語で発信するなど、金沢の知名度向上や誘客推進に努めました。

### 【主な体験・発信内容】

- 4月26日 たけのご収穫体験、調理実習、試食
- 5月15日 市立工業高校相撲部見学

- 5月21日 太陽丘こども園・鈴木大拙館視察
- 5月25日 加賀太きゅうり収穫体験
- 6月22日 打木赤皮甘栗かぼちゃ収穫体験
- 8月3日 なしの収穫体験、試食
- 9月11日 さつまいもスイートポテトづくりの加工体験、試食
- 11月13日 源助だいこん収穫体験、試食
- 12月17日 「金沢おぐら座」大衆演劇体験
- 12月19日 ビーガン料理の試食
- 2月16日 「西金沢少女団」ステージライブ体験



たけのご調理実習



源助だいこん収穫体験



五郎島金時の視察



「金沢おぐら座」大衆演劇体験

# 国際交流特使による金沢PR活動

## 在外公館で金沢をPR!

	在フランス日本国大使館	在ベルギー日本国大使館	在ストラスブール日本国総領事館	在ロシア日本国大使館	在ポルト・アレグレ日本国領事事務所
開催日	11月7日(水)	11月28日(水)、29日(木)	12月5日(水)	12月6日(木)	12月6日(木)
場所	在フランス日本国大使公邸	在ベルギー日本国大使公邸	在ストラスブール日本国総領事公邸	在ロシア日本国大使館	ポルト・アレグレ州医師協会ホール
出席者数	約600名	約200名(28日) 約140名(29日)	244名	約700名	165名
派遣者	エミリアン・ボネ (元留学生) マリー・ドスダ (元インターン生)	ヨナタン・フリードマン (元留学生) ビャルト・イエカテリーナ (元留学生)	はなえ 小倉 ルメートル ポール・ヴァンド ヴォンテル マリー・ドスダ (3人とも元インターン生)	リップキン・セルゲイ (元石川県国際交流員) (協力者) ドロネンコ・セルゲイ ベリヤニナ・マリア	ベアトリス・ロケットコベル ガブリエル・モレイラ ヨシモト・ダニエラ・ユミ 樋渡笹田・トシオ・ルーカス (4人とも元短期研修生) (協力者) 和田好司、和田恵子 ガブリエラ・バルボサ
内容	展示：ポスター、パンフレット、工芸品等 味覚：地酒、和菓子 体験：金箔体験				展示：ポスター、パンフレット、工芸品等 体験：金箔体験



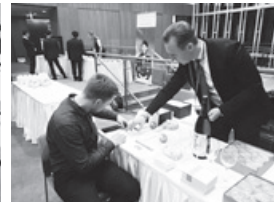
在フランス日本国大使館



在ベルギー日本国大使館



在ストラスブール日本国総領事館



在ロシア日本国大使館



在ポルト・アレグレ領事事務所

## タイの大学のイベントでPR

2019年2月8日・9日、特使のチャヤーポーン・アッタウィラーブさんが、チェンマイ大学の「日本祭」で金沢のPRを行い、訪れた高校生や大学生約100名が金箔貼りを体験しました。



## 在日ベルギー大使館公使参事官 来沢

2019年2月28日～3月1日にかけて、大使館連携魅力発信事業の一環として、在日ベルギー大使館より、イエレン・ヴェルゲイレン公使参事官が来沢しました。2月28日には、金沢市役所を訪れ、山野市長を表敬訪問しました。また、同28日には、ベルギー・ゲント王立美術アカデミーと交流のある金沢美術工芸大学の山崎学長を表敬訪問したほか、金沢21世紀美術館などの本市の文化施設等を視察しました。参事官は本市での滞在を通して、大

使館のフェイスブックやツイッターで発信し、本市の魅力を紹介しました。

【主な日程】

- 2/28 来沢、金沢市長表敬訪問、金沢美術工芸大学学長表敬訪問、加賀友禪の体験
- 3/1 市内視察、離沢

## ゲント市との交流の懸け橋! 「金沢-ゲント交流サポーターズクラブ」を設立

金沢市国際交流特使に任命されているマリス・ホルヴート元国際交流員が発起人となり、ベルギー出身の元国際交流員と国際交流特使などが、2018年11月29日の山野市長のゲント市訪問にあわせて、新たに両市の交流を支えるグループを発足させました。

金沢市国際交流特使を中心として姉妹都市で活動する交流グループとしては、2015年3月に設立されたブラジルの姉妹都市ポルト・アレグレ市の「金沢友の会」、2016年6月の「金沢-蘇州交流サポーターズクラブ」に続き、3例目となります。



山野市長より金沢市のPRグッズを受け取った3人の会員

の懸け橋としての活躍が期待されます。

【初期会員】(左2人目から右に)

- マリス・ホルヴート(女) 元金沢市国際交流員、国際交流特使
- マティアス・ブレネン(男) 国際交流特使
- ヨナタン・フリードマン(男)

【今後の交流計画】

- (1) 金沢市からの訪問団によるゲント市訪問時の人的交流
- (2) 金沢市が実施する事業に対する協力
- (3) 「金沢-ゲント交流サポーターズクラブ」の提案に基づく金沢PR

# 姉妹都市からの短期研修生を受入

本市では、2015年度より、金沢と姉妹都市交流を支える現地の交流拠点である「サポーターズクラブ」などが派遣する海外の若者を受入れ、各種講座・体験のほか、金沢国際交流財団と連携したホームステイなど、市民との交流の場も取り入れた約2週間の「国際交流特使養成・短期研修事業」を行っています。

4回目の今回は2019年1月28日から2月8日の期間、アメリカ・バッファロー市より1名、ブラジル・ポルト・アレグレ市より1名、中国・蘇州市より2名の計4名の研修生を受け入れました。

研修プログラムでは、金沢の歴史や文化等に関する講座や能などの各種文化体験、文化施設や史跡、まちなみ等の実地見学などを通して金沢をまるごと体験し、「金沢」を学んでいただきました。

また、北陸大学の学生との交流では学生によるクイズ形式の金沢紹介や、「たこ焼き」を一緒に作ることでコミュニケーションを図りました。

また、姉妹都市からの国際交流特使研修生として金沢をより深く知るために、金沢海みらい図書館の姉妹都市図書コーナーや姉妹都市公園を訪れ、姉妹都市間の絆を確認しました。

4人の研修生は、研修終了日に金沢で学んだことの結果を発表し、金沢市長より「金沢市国際交流特使」に任命され、帰国後、SNSや現地のイベント等で、体験した金沢の魅力や、広く発信します。

〔参加者〕

【バッファロー市】1名

ニコライ・グラチョフ（男） 大学生

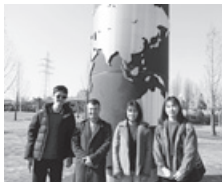
【ポルト・アレグレ市】1名

ササダ・ヒワタシ・ルーカス・トシオ（男） 大学生

【蘇州市】2名

朱 鳳（女） 大学生

高 方婷（女） 大学生



姉妹都市公園見学



加賀野菜の天ぷらと治部煮づくり



書道体験



北陸大学の学生との交流



研修発表会



特使任命式

# 新たな交流！「東アジア文化都市2018金沢」を開催

「東アジア文化都市」とは、日中韓文化大臣会合での合意に基づき、日本・中国・韓国の3か国において、文化芸術による発展を目指す都市において様々な文化芸術イベント等を実施し、東アジアの相互理解と国際発信力の強化を図り、継続的に発展することを目的としたイベントです。

2017年8月26日に京都市で開催された第9回日中韓文化大臣会合において、金沢市、ハルビン市（中華人民共和国）、釜山広域市（大韓民国）が2018年の東アジア文化都市に選定され、2018年1月から12月の期間で交流事業を行いました。

【主な交流】※全て2018年

3月5日 東アジア文化都市2018金沢開幕式典

6月3日～4日

東アジア文化都市2018釜山で開催された「東アジア文化の森」に金沢市より芸能団を派遣

9月15日～11月4日

金沢21世紀美術館にて「変容する家」展覧会

10月11日～11月25日 金沢21世紀工芸祭

10月12日～10月20日

東アジア文化都市2018ハルビンで開催された国際撮影展示会（中日韓「わが都市・わが家」）に金沢市より代表団を派遣

12月5日 東アジア文化都市2018金沢開幕式典



金沢開幕式での金沢市の演技



百万石まつりの盆正月でのハルビン市の演技



金沢開幕式での釜山広域市の演技

# 交流サポーター育成事業：「国際交流若者シンポジウム」を開催！

2018年8月26日に、中国出身の丁曉婷国際交流員のコーディネートによる「国際交流若者シンポジウム」を開催しました。シンポジウムでは、今年度に姉妹都市・中国・蘇州市へ派遣された中学生の活動成果を発表し、意見交換を行い、国際感覚を身につけた「国際交流サポーター」の育成にも繋がりました。発表者である中学生は、教育・社会・食・生活・文化の各テーマについて、蘇州市で現地調査をおこなった個人プロジェクトの成果を紹介し、参加者からは多くの質問が出されて活発な議論が展開されました。

また、派遣事業へ同行した金沢市立病院消化器内科の清家拓哉医師からも、発表者の未来への応援メッセージをいただきました。

## 【概要】

- ・開催日 8月26日(日)
- ・会場 金沢ニューグランドホテル 4階「金扇」
- ・プログラム
  - 13:00～13:10 開会(山野市長の挨拶)
  - 13:10～15:00 発表(本年度派遣中学生14名)  
質疑応答

## 【発表テーマ】

1. 教育について
  - ・中国の中学校生活 ～文化的授業について～



熱気にあふれた会場

- ・中国の中学生生活 ～中学生のタイムスケジュール～
- ・中国の中学生生活 ～授業や宿題について～
- ・中国の教科書とノート ～教科書やノートなどについて～

## 2. 社会について

- ・中国のメディアについて ～人々の生活と情報～
- ・中国国内での違い ～蘇州市とハルビン市での違い～

## 3. 食について

- ・中国の食文化 ～中国料理の歴史～
- ・中国の食事マナー ～日本と比べてどうなのか～

## 4. 生活について

- ・中国の1日の生活と習慣
- ・中国と日本のコンビニ ～どんな共通点やちがいがいいのか～
- ・中国で使われている日本の製品

## 5. 文化について

- ・中国の衣服 ～日本との違い、共通点～
- ・「日本の漢字」と「中国の漢字」について
- ・兼六園と拙政園の魅力とその違い  
～拙政園と兼六園にはどんな違いがあるのか～



発表者

# 石川中央都市圏・国際交流連絡会を開催！ ～4市2町が国際交流連携の取り組みを実施～

金沢市は、石川中央都市圏(金沢市、白山市、かほく市、野々市市、津幡町、内灘町)における連携中枢都市圏を形成し、4市2町の連携によって「石川中央都市圏ビジョン」を推進しています。人口減少・少子高齢社会にあっても、地域を活性化させて経済を持続可能なものとし、安心して快適な暮らしを営むため、「経済成長のけん引」、「高次都市機能の集積・強化」及び「生活関連機能サービスの向上」を行うことが目的です。

この枠組みにおいて、2016年度より4市2町の国際交流所管課が、情報交換や課題の共有等を行うことで連携を強化し、地域の国際交流の推進を図ることなどを目的とする国際交流連絡会を開催しています。

今年度は、連絡会を5月・8月は金沢市で、11月は野々市市で、また、2月には白山市国際交流サロン及び金沢市文化施設等の視察を行ったほか、10月13日・14日開催の「かなざわ国際交流まつり2018」に参加し、金沢市庁舎前広場において国際交流ブースの出展や、4市2町の国際交流活動を紹介するパネル展示、子供向けイベントの実施など、国際交流の推進を図りました。



会議の様子(於:金沢市)



国際交流ブースの出展

# 金沢マラソン2018に姉妹都市・友好交流都市から8代表団が参加！

2018年10月28日、「金沢をまるごと『走る!』」をキャッチフレーズに、金沢の魅力が満喫できる7つのゾーンを走るフルマラソンの大会「金沢マラソン2018」には10月26日から29日の期間、本市の7姉妹都市・1友好交流都市からの代表団28名（うちランナー15名）が、来沢し、大会に華を添えました。全姉妹都市・友好交流都市から代表団が参加したのは、2015年の第1回大会以来となります。

大会当日、姉妹都市・友好交流都市からの出走者は、13,000人（うち国外約1,000人）を超えるランナーとともに、山野市長の号砲を合図に一齐にスタート。途切れることのない沿道の熱い声援に力も得て、全員が晩秋の市内での走りを楽しみました。

## 【訪問団】

都市名	団長	所属等	人数 (ランナー)
バッファロー	モリソン クリストファー	Buffalo-Kanazawa SS	4名 (2名)
ボルト・アレグレ	バルテルイスダコスタナゲルステイン	ボルト・アレグレ市 議会議長	5名 (0名)
イルクーツク	ツヴェトコフ アナトリー	Sport club "Baikal"	3名 (2名)
ゲント	スハーレン パウルヘンリー	市民ランナー	2名 (2名)
ナンシー	フォサル シルヴィアヌス	RCV	2名 (1名)
蘇州	孔 凡平	蘇州市体育競技管理 中心部長	6名 (3名)
全州	崔 陽烈	全州市陸上連盟	2名 (2名)
大連	姜 霖	獵豹	4名 (3名)
合計：8都市			28名 (15名)

金沢マラソンの参加を契機とする本市の姉妹都市・友好交流都市間の新たな交流が芽生えてきており、2019年10月27日に決定している金沢マラソン2019にも、多くの姉妹都市等からのランナーの皆さんが参加することが期待されています。

なお、本年度の各市からの訪問団の概要と、主な滞在日程は、以下のとおりです。



表敬訪問



送別会

## 【主な滞在日程】

日付	内容
10/26 (金)	表敬訪問／歓迎会
10/27 (土)	コース下見／市内視察 (兼六園・ひがし茶屋街等) 金沢マラソン前夜祭
10/28 (日)	金沢マラソン2018参加 送別会
10/29 (月)～	各市代表団離沢

# 金沢ジャズストリート2018に姉妹都市のバンドが出演

2018年9月14日から17日まで開催された金沢ジャズストリート2018に、姉妹都市から、イルクーツク市のバンドDr.JAZZと、ナンシー市のバンドShootin' Chestnutsが出演しました。

Dr. JAZZは、9月14日の前夜祭と、16日のINTERNATIONAL JAZZ STAGEで演奏を披露しました。Shootin' Chestnutsは、15日のまちかどジャズステージと、16日のINTERNATIONAL JAZZ STAGEに出演しました。



Dr.JAZZ



Shootin' Chestnuts

# サマージャズキャンプin金沢に姉妹都市から講師を招へい

2018年8月20日から24日まで開催された「サマージャズキャンプin金沢」において、ゲント王立音楽院教授のマルテン・ウェイレル氏が講師を務めました。ウェイレル教授は、青少年を中心とした参加者に、演奏技術のスキルアップとジャズ理論について指導しました。





# バッファロー 【アメリカ合衆国】



バッファロー市からのランナー

**提携** 1962年（昭和37年） **人口** 26万人

**面積** 105km<sup>2</sup>

五大湖のひとつ、エリー湖の東にあり、ニューヨーク州西部の政治、経済、教育、文化の中心地。製鉄・製粉などの工業都市として発展した。市内には、オルブライト・ノックス美術館、州立大学バッファロー校や広大なデラウェア公園があるほか、著名な建築家フランク・ロイド・ライト設計の建物が現存するなど、文化と学術のまちでもある。有名なナイアガラの滝は、北西25kmの所にある。

## バッファロー・金沢姉妹都市委員会会長が来沢

2018年10月25日から30日まで、バッファロー・金沢姉妹都市委員会の道井孝子会長が来沢しました。滞在中は、両市の交流に縁のある団体や個人との友好を深めるとともに、今後の交流に関する有意義な意見交換などを行いました。

### 〔主な日程〕

- 10/25 来沢
- 10/26 金沢美術工芸大学訪問  
金沢マラソン2018公式行事参加
- 10/27 金沢蓄音器館訪問、金沢能楽美術館訪問  
金沢市長・副市長表敬訪問
- 10/28 金沢マラソン2018応援
- 10/29 金沢能楽会訪問
- 10/30 離沢



金沢美術工芸大学学長表敬訪問



金沢蓄音器館訪問



金沢能楽会訪問

## バッファロー市の豆知識

### ● まちの名前の由来

初めてナイアガラ河を見たフランス植民者がベル・フルーヴ（美しい流れ）と叫んだことに由来するというのが通説です。動物の「バッファロー」が由来ではありません。

### ● 気候

夏はかなり気温が上昇しますが、乾燥しているのでのぎ易く、冬の寒さはかなり厳しくなります。（北海道とほぼ同緯度）

### ● 時差

夏時間：日本時間マイナス13時間  
冬時間：日本時間マイナス14時間

### ● 距離と時間

ニューヨークまで飛行機で1時間30分程度、カナダ・トロントまで車で2時間程度です。

### ● 有名な食べ物

バッファローウィング。鶏肉の手羽を素揚げにし、辛味の強いソースをまぶした料理です。



### ● 人気のあるスポーツ

アメリカンフットボール（バッファロー・ビルズ）  
アイスホッケー（バッファロー・セイバーズ）

# ポルト・アレグレ 【ブラジル連邦共和国】



ポルト・アレグレ市議会議長の金沢市議会議長表敬訪問

**提携** 1967年（昭和42年） **人口** 148万人  
**面積** 497km<sup>2</sup>

ブラジル南部最大の都市で、リオ・グランデ・ド・スル州の州都。豊かな農牧地帯とリオ・デ・ジャネイロに並ぶ良港を持ち、米、ワイン、たばこ、畜産物などの生産のほか、木材、毛織物、金属等の工業も盛ん。四季ははっきりしており、グワイーバ川沿いに広がる市街は、美しいパトス湖や街路樹に彩られる。まちの入口では、この地のシンボルのガウーショ（カウボーイ）の像が訪れる人々を出迎えている。

## ポルト・アレグレ市議会議長の来沢

金沢マラソン2018を視察するため、2018年10月25日から29日まで、バルテル・ナゲルスティン ポルト・アレグレ市議会議長を団長とする訪問団が来沢しました。滞在中は、金沢市長表敬、清水邦彦金沢市議会議長（金沢市姉妹都市交流委員会会長）の表敬のほか、兼六園や金沢21世紀美術館等の視察等も行いました。一行は、ランナーに対する歓迎や応援といった金沢市民のおもてなし、ごみが落ちていない美しい街なみなどに感激され、両市の姉妹都市交流の更なる発展への思いを強くされました。



ポルト・アレグレ市議会議長と山野金沢市長

## ポルト・アレグレ市、ことじ灯籠に銘板を設置

本市が昨年度の8月に寄贈したことじ灯籠に銘板が設置され、2018年8月17日に除幕式が行われました。この式典は、日本人ブラジル移住110周年を記念し、市民に日本文化を紹介するために開催された「日本週間」の一連の行事のなかで行われました。銘板には、姉妹都市提携50周年を記念して金沢市から贈られた旨が記されています。

また、「日本週間」に引き続き、日系団体等が主体になって、日本文化の紹介を行う恒例行事である「日本祭り」が実施されました。「日本祭り」は、約9万人が来場した大イベントで、会場では現地の「金沢市国際交流特使」らで結成された「金沢友の会」が金沢ブースを出

展し、金沢の魅力を発信しました。ブースでは、金沢の工芸品の展示やパンフレットの配布、金箔貼り体験が行われ、ネルソン・マルシェザン・ジュニオル ポルト・アレグレ市長も金箔貼りを体験しました。



金箔体験を行うポルト・アレグレ市長

## 「金沢友の会」役員の一斉

両市の交流のかけはしとなっている、現地の「金沢友の会」の役員が一斉され、金沢市国際交流特使のベアトリス・ロケットコベルさんが会長、ガブリエル・モレイラさんが副会長、ヨシモト・ダニエラ・ユミさんが会計に就任、金沢訪問経験のあるガブリエラ・バルボサさんも書記に就任しました。ジルベルト・サントス前会長、和田恵子前副会長は、監事として新役員をサポートする立場となりました。金沢友の会のさらなる活躍を期待しています！



新役員の方々

# イルクーツク 【ロシア連邦】



イルクーツク中学生親善団の表敬訪問

**提携** 1967年（昭和42年） **人口** 62万人

**面積** 277km<sup>2</sup>

バイカル湖(世界遺産)の西方にあり、東シベリアの政治、経済、教育、文化の中心地。イルクーツク州の州都。天然資源が豊かで、機械、木材、食品などの工業が発達している。アンガラ川沿いに広がる市街は、美しく落ち着いた雰囲気から「シベリアのパリ」とも呼ばれる。市内には、イルクーツク大学をはじめとした学術施設、先端技術の研究所や工場などが数多くあるほか、市民の文化・芸術活動も盛ん。

## ようこそ！中学生親善団の皆さん！

2018年7月5日から12日まで、コセンコ・エレナ イルクーツク教育委員会組織人事課長とする中学生親善団20名（引率5名、生徒15名）が来沢しました。一行は、滞在中、兼六園やひがし茶屋街などの市内視察や着付け体験などを行い、金沢について知るとともに、同7日から8日に行った一泊二日のホームステイでは、ホスト家庭の一員として、日本の生活を体験しながら、楽しい一時を過ごしました。ホームステイ後に行われた交流会では、前年にイルクーツク市を訪問した金沢市中学生親善団とのテーマソングなど、パフォーマンスの交換もありました。9日には、教育長へ表敬訪問を行い、金沢の印象、ホームステイの感想等について発言しました。同日、長田中学校を訪問し、生徒会との意見交換、授業見学などを通じ、生徒らとの親睦を深めました。このように、滞在中のプログラムを通じて多くの方々との触れ合うとともに、市内視察や文化体験なども行い、たくさんの思い出を持ってイルクーツク市へ戻りました。



交流会の様子

りです。

7月：中学生親善団ホームステイ説明会実施  
（1名、11年度派遣者）

7月：中学生親善団受入（交流会、送別会）  
（のべ9名、11,13,15年度派遣者）

8月：国際交流シンポジウム（2名、17年度派遣者）

3月：国際交流研修会の開催



中学生受入時の交流会の準備（7月）

国際交流シンポジウムでの司会（8月）

## Topics

### 「石川県ロシア協会」イ市訪問、イ市中学生親善団協力、交流写真展開催

石川県ロシア協会は2018年6月24日～28日にかけてイルクーツク州を訪問、その際に金沢市長からの親書をイ市長へ手交してもらいました。同協会金沢支部（金沢市ロシア協会）は、7月7日、本市が受入れたイ市中学生親善団の団長をはじめとする引率者（5名）に対し、野田山の「ロシア人墓地」を紹介するとともに交流を行いました。同協会が毎年設定している日ロ友好親善月間「フェスタ・バイカル」の枠組みで、11月8日から15日に、金沢国際交流財団において、交流写真展を開催しました。

### 金沢市議会代表团がイルクーツク市を訪問

2018年7月28日～8月3日の日程で、黒沢和規前議長を団長とする「金沢市議会代表团」一行8名が、両市の友好の更なる促進を図るためイルクーツク市を訪問しました。一行は滞在中、市内を視察したのち、イルクーツク市議会を訪問し、互いのまちづくりについて意見交換を行いました。

## 「交流サポーター」活動

金沢市の青少年交流事業で、イルクーツク市へ派遣された中学生親善団員OBの有志で構成され、メンバーの親睦活動や国際交流事業のボランティアを行っている「交流サポーター」の本年度の主な活動は次のとおり

# ゲント 【ベルギー王国】



マティアス・デ・クレルク新ゲント市長と握手をする山野市長

**提携** 1971年（昭和46年） **人口** 26万人

**面積** 158km<sup>2</sup>

フランダース地方の中心都市で、今も中世の面影を色濃く残す芸術・文化のまち。別名「花の都市」とも呼ばれ、花の博覧会「ゲント・フローラリア」は世界的にも有名。ゲント港はヨーロッパ屈指の内陸港で、繊維、鉄鉱などの産業が発達した。聖パー夫大聖堂や1817年創立のゲント大学のほか多くの博物館や旧跡があり、中でも鐘楼やベギン会修道院などは世界遺産に指定されている。

## 山野市長がゲント市を訪問

2018年11月29日、山野市長をはじめとする金沢市代表団がゲント市役所を訪問しました。ゲント市役所で行われた歓迎式典には、マティアス・デ・クレルク第一助役（当時）をはじめとするゲント市役所の職員のほか、金沢市との交流でこれまで関係があった方が出席し、山野市長らとの再会を喜びました。会場には、これまでの交流の歴史を振り返るスライドや、2018年8月に金沢で行われたジャズ・キャンプで指導したゲント王立音楽院のマルテン・ウェイレル教授が指導する学生によるジャズ演奏があり、終始和やかな雰囲気でした。

式典中には、「金沢-ゲント交流サポーターズクラブ」の設立セレモニーも行われました。

その後、デ・クレルク第一助役（当時）を表敬訪問し、2021年の姉妹都市提携50周年について、また、若者の未来につながる交流の可能性について懇談しました。



デ・クレルク第一助役（当時）と懇談する山野市長

## 山野市長がデ・クレルク新ゲント市長へビデオメッセージを贈る！



放映時の様子：左側一人目がデ・クレルク新市長

デ・クレルク新市長へ山野市長より就任祝いのビデオメッセージが贈られました。

2019年1月10日のデ・クレルク市長就任後の最初の定例助役会議時にゲント市役所内会議室において放映されました。

2018年10月14日に行われたゲント市長選挙において、前第一助役のマティアス・デ・クレルク氏が新市長候補に選出され、同氏が2019年1月1日付けで正式にゲント市長に就任しました。これに伴い、

## サッカーワールドカップ 日本×ベルギー戦！

2018年7月3日、午前3時から、FIFAサッカーワールドカップRUSSIA2018決勝リーグ「日本×ベルギー」戦が行われ、日本各地で深夜にもかかわらず盛り上がりを見せまし

た。本市でも、市在住のベルギー人をはじめとするベルギーサポーターと一緒に、市役所有志22名が日本とベルギーの両チームを応援しました。試合は2-3で日本が負けましたが、最後まで目が離せない歴史に残る名勝負となりました。決勝点をあげたベルギーのカウンター攻撃では、ゲント市出身のMFケビン・デ・ブライネ選手が華麗なドリブルで攻め込み、重要な役割を果たしました。



試合後のサポーター達

### Topics

#### ゲント市で日本祭り開催

2018年4月28日、ゲント市において、日本文化をテーマとした「MATSURI GENT - Japan Festival -」（本市後援）が開催されました。ゲント大学への留学生、ゲント大学日本学専攻のベルギー人学生、ゲント市に日本文化の普及を目的として活動する非営利組織「Inari」のメンバーが中心となってイベントを運営しました。会場には金沢市の観光パンフレット等で金沢をPRしました。なお、このイベントにはゲント市民を中心に約4,000人が参加しました。

#### 在ベルギー日本大使館でのイベントに

姉妹都市ゲント市およびサポーターズクラブ会員などが参加  
2019年1月24日、在ベルギー日本大使館において、林大使主催による「第6回姉妹都市連携強化レセプション」に、姉妹都市ゲント市より2名、「金沢-ゲント交流サポーターズクラブ」の会員2名と金沢大学の姉妹校であるゲント大学より2名が参加しました。日本とベルギーの間には、8つの姉妹都市と2つの友好都市、3つの友好港があります。レセプションではこれらの姉妹都市、友好港やその他の日本との絆を有する自治体等の関係者が出席し、活発な意見交換やネットワークの強化などが行われました。

#### Dr. ギズランミュージアム館長一行が来沢

2019年2月27日、ベルギーの姉妹都市ゲント市の私立美術館「Dr. ギズランミュージアム」の、アネミー・カヨー館長一行が本市での展覧会開催に向けて関係者と協議するために来沢しました。「Dr. ギズランミュージアム」は、精神医学博物館として世界的にも充実したコレクションを誇り、常設展示、企画展示、アウトサイダーアートの3部門が展示されています。一行は、金沢21世紀美術館などを視察しました。

# ナンシー 【フランス共和国】



交換留学生清水さんとアルベリックさんが山野市長へ挨拶

**提携** 1973年（昭和48年） **人口** 10万人  
**面積** 15km<sup>2</sup>

フランス東部の中心都市で、12世紀中頃からロレーヌ公国の都として栄えた。機械、織物、クリスタルガラスなどの産業が発達しており、20世紀初頭の芸術運動アール・ヌーボー発祥の地としても有名。総合大学等があり、人口に占める学生の割合が高い学園都市であると同時に、国際的な音楽祭や国立バレエ団がある芸術都市として発展している。スタニスラス広場などが世界遺産に指定されている。

## 交換留学生の受入・派遣

金沢市から昨年派遣された清水 芽さん（金沢美術工芸大学）が、1年間の留学生生活を終えて帰国しました。また、28人目の留学生として、仁本このみさん（金沢美術工芸大学）が派遣され、2018年10月よりナンシー国立高等美術学校にて学んでいます。

さらに、ナンシー市からの28人目の留学生、ヴィルマン・アルベリック（ナンシー国立高等美術学校）が金沢美術工芸大学での留学生生活を始めました。

## インターン生の受入・派遣

ナンシー市でのインターンのため、佐藤菜月さん（金沢大学）が金沢市から派遣されました。インターンは8月6日から8月31日の期間で行われ、ナンシー市の公園庭園課で業務を行いました。

また、金沢市では、ナンシー市からのインターン生である小倉 ルメートル・はなえさん（ロレーヌ大学附属工業技術短期大学）とヴァンド ヴォンデル・ポールさん（ロレーヌ大学）を同日程で受け入れ、就業体験を行いました。

〔主な日程〕

- 8/6 来沢、オリエンテーション
- 8/7～8/10 金沢市立保育所
- 8/13～8/17 金沢市立図書館
- 8/18～8/19 ホームステイ

金沢海みらい図書館での絵本の読み聞かせ



鈴木大拙館での受付業務

- 8/20 金沢美術工芸大学
- 8/21～8/22 金沢能楽美術館
- 8/23～8/24 金沢市農業センター
- 8/27～8/28 前田土佐守家資料館
- 8/29 鈴木大拙館
- 8/30～8/31 国際交流課

## ナンシー国立高等建築学校のワークショップ開催

2018年4月14日から21日まで本市の歴史都市政策と日本建築を学ぶためナンシー国立高等建築学校アンス・シュウ教員をはじめ11名の学生と東京理科大学、金沢工業大学の教員及び学生が来沢しました。

一行は本市伝統的建造物群保存地区で建築物の保存と活用に関する調査・研究を行いました。

### Topics

#### 第6回日仏自治体交流会議 参加

2018年10月9日から11日まで、熊本市にて第6回日仏自治体交流会議が開催されました。金沢市からは細田大造副市長を団長とする代表団が参加し、「公共交通」をテーマとした分科会で発表を行い、今後の日仏交流における提案が行われるなど、活発な議論が繰り広げられました。

#### 金沢市立病院とナンシー大学病院との研修医等の相互派遣

医師の育成と研究を通して、医療分野における両院の科学・技術交流を促進するため、7月2日から31日の日程で、金沢市立病院が地域圏立ナンシー大学病院から研修医2名を受け入れ、続く11月3日から28日の日程で、金沢市立病院から地域圏立ナンシー大学病院へ医師2名を派遣しました。

#### 在日フランス大使館文化部 次席参事官が来沢

金沢日仏協会の「2018年金澤巴里祭・ナンシー使節往来日記念日イベント」に参加するため、7月22日から23日の日程で、在日フランス大使館のカトリーヌ・ウンサモン文化部 次席参事官が来沢しました。これに合わせて、山野市長への表敬訪問を行いました。

#### ヴィラ九条山館長が来沢

アジアでは唯一のフランスのアーティスト・イン・レジデンス施設であるヴィラ九条山のシャルロット・フーシェ＝イシイ館長が8月5日から6日の日程で来沢し、山野市長への表敬訪問を行いました。



# 蘇州【中華人民共和國】



金沢市中学生親善団（蘇州市にて）

**提携** 1981年（昭和56年） **人口** 691万人

**面積** 8,488km<sup>2</sup>

約2,500年前の「呉」の国の都として築かれた古都。温和な気候と美しい自然に恵まれ、古くから景勝の地として知られる。美しい庭園と寒山寺などの名所旧跡が数多く、拙政園や留園など9カ所もの庭園が世界遺産に指定されている。シルク刺繍などの特産品や食の地としても有名であるが、近年は、シルクなどの特産品のほか、近郊に日本企業を含む多くの外国企業が進出し、めざましい経済発展を遂げ、その経済力は中国国内トップ10にランクインしている。2014年12月、本市と同じクラフト分野でユネスコ創造都市ネットワークに加盟。

## 第7回金沢市中学生親善団を蘇州市に派遣

2018年7月26日から30日の日程で、磯部康司・金沢市土木局長を団長とする中学生親善団20名（うち中学生15名）が蘇州市を訪問しました。団員には、海外が初めての人も多く、市内視察では、2500年の歴史が育んだ悠久の歴史・文化に感激していました。

蘇州市田家炳実験初級中学校生徒の家庭でのホームステイでは、中国の生活・ホストファミリーとの交流を通して、生徒達は一回り成長して帰ってきました。

また、蘇州市田家炳実験初級中学校では、同校の特色である伝統文化授業（刺繍・水墨画扇絵・古筝・陶芸）を体験しました。続いて開かれた交流会では、英語で金沢の文化紹介をした後、日中両国の伝統的な遊びや、歌を披露するなどして、同校の生徒との交流を深めました。

なお、2019年3月26日に今回の親善団参加者を中心として、蘇州市中学生親善団OB・OG交流サポーターが、イルクーツ市中学生親善団OB・OG交流サポーターと共に、「金沢学生のまち市民交流館」において、研修会を行いました。



蘇州刺繍を体験する中学生団員

## 金沢市が「対華友好都市交流合作賞」を受賞！



「対華友好都市交流合作賞」授賞式

金沢市と蘇州市の姉妹都市の37年間にわたる交流の歴史と、2016年に締結した姉妹都市提携35周年のクラフト分野提携などの文化・スポーツ・青少年交流などの幅広い交流が、中国人民対外友好協会・中国国際友好都市連合会に評価され、中国友好

都市交流・友好提携で貢献した外国の都市を表彰する「対華友好都市交流合作賞」を本市が受賞しました。

これに伴い、11月14日～16日に中国・武漢市で開催される「2018中国国際友好都市大会」において行われる授賞式に、金沢市長代理として古一之危機管理監を派遣しました。

また、古危機管理監は15日には、1998年と2016年に大水害に襲われた武漢市の水害対策担当者と水害対策について懇談しました。

## 蘇州太湖国際マラソン大会参加へ金沢市選手団を派遣

2018年11月18日に開催された「蘇州太湖国際マラソン大会」に、小阪栄進・金沢市陸上競技協会会長を団長とする金沢市選手団4名が、11月16日から19日の日程で参加しました。

37の国と地域から参加した約3万人が参加する中、男子フルマラソンに出場した和田隣選手（金沢マラソン2018・男子14位）は、2時間42分06秒（12位）でゴールしました。女子フルマラソンに出場した舩田泉那選手（金沢マラソン2018・女子4位）は、2時間54分11秒（6位）でゴールし、入賞しました。

また、小阪団長は現地メディアのインタビューを受け、蘇州太湖マラソンの印象を伝えた他、金沢マラソンについてもPRしました。



完走後の選手団

### Topics

#### 蘇州高新区代表団が金沢マラソンの運営を視察

2018年8月1日から3日の日程で蘇州高新区代表団が来沢しました。蘇州高新区は、蘇州市の西側に位置し、中国で最初に発展した国家級高新技术開発区の一つで、500社以上の日系企業が進出している地区です。同区は「蘇州太湖国際マラソン大会」を主催しており、8月2日に金沢マラソンの運営について視察しました。

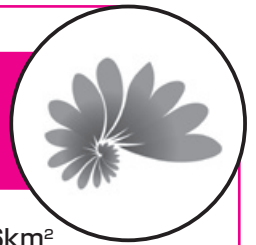
#### 蘇州工業園区代表団が来沢

2018年8月10日から11日の日程で蘇州工業園区代表団が来沢しました。蘇州市工業園区は蘇州市の東側に位置し、中国とシンガポール両国政府が共同で開発した国際的な政府間合作開発区であり、交響楽団・バレエ団などの現代芸術団体を所管している一方、歴史旧跡がある地区です。一行は、8月10日に市内の芸術に関する施設等を視察しました。

#### 蘇州市幼教師範高等専科学校代表団が来沢

2018年10月16日から18日の日程で、蘇州市幼教師範高等専科学校代表団が来沢しました。同校は、蘇州市立の高等専門学校で、蘇州市近辺で唯一の幼稚園教諭専門学校です。一行は、10月17日には附属の幼児教育機関を持つ金沢星稷大学を訪問し、幼児教育について視察しました。

# 全州 (大韓民国)



第17回全州伝統工芸展開会式

提携 2002年(平成14年) 人口 65万人 面積 206km<sup>2</sup>

「後百済」の都として千年余りの歴史を持つ古都で、李氏朝鮮を開いた李成桂の本郷としても知られる。国指定宝物の豊南門(ブンナムムン)、韓屋村などの歴史遺産や韓紙(ハンジ)、韓(ハン)ソリなどの韓国伝統文化が創造的に継承されていることが高く評価されている。近年は、炭素繊維産業や「韓スタイル事業」を通して先端技術と伝統が調和する経済を追求するとともに、映画映像産業、生物生命産業なども育成し、21世紀新産業都市への変貌を図っている。

## 「全州市・金沢市姉妹都市交流 第17回全州伝統工芸展」を開催

2018年11月6日から11日まで、金沢21世紀美術館にて「全州市・金沢市姉妹都市交流 第17回全州伝統工芸展」を開催し、全州市の韓紙工芸作家による伝統工芸品が展示されました。

この展示会は、2002年の両市姉妹都市提携後、全州市の(社)韓紙文化振興院との間で毎年交互に双方の都市で、伝統工芸品を紹介しあうために開催されているもので、今回で17回目となりました。また、ワークショップが行われ、韓紙工芸作家が講師となり、市民が韓紙によるお菓子皿やキーホルダーづくりを楽しみました。



ワークショップ

本展示会開催のため、11月4日～9日の日程で、金恵美子・(社)韓紙文化振興院理事長をはじめとする訪問団11名が本市に滞りし開会式に出席したほか、丸口邦雄・金沢市副市長を表敬訪問しました。

## ユネスコ創造都市ネットワークを活用した交流 「工芸(金沢)」×「食文化(全州)」の実施

ユネスコ創造都市ネットワークに食文化で認定されている全州市で、「2018全州ビビンバ祭り」が開催されるのに合わせて、2018年10月24日から29日(※卸売市場長:10月24日～26日)の日程で、向哲広・卸売市場長、象嵌作家・笠松加葉氏ほか市職員1名の計3名を派遣しました。昨年、姉妹都市提携15周年記念合意書に盛り込まれた「ユネスコ創造都市ネットワークを活用した交流」として初めて実施するもので、会場に設けられた市のブースにおいて、来場者に加賀象嵌の実演・体験等を行ったほか、本市の陶芸作家の戸出克彦氏と吉岡正義氏が制作・選定した陶磁器を使って、全州市の料理を盛り付け、展示を行いました。



加賀象嵌の実演

来場者は、食のイベントにちなんで用意された箸置きや制作体験などを通じて、本市

の工芸の技に直接触れたほか、慣れ親しんだ郷土の伝統料理が金沢の食器に盛り付けられている様子に、新たな魅力を発見していました。

滞在中、訪問団は金承洙全州市長を表敬訪問したほか、ビビンバ祭り開幕式に参加しました。

## 「グローバル伝統文化都市ネットワークセミナー」出席のため、全州市を訪問

2018年10月25日から28日の日程で、上出憲之・観光政策課長、石浦裕治・歴史都市推進課町家保全活用室長の2名が、全州市で開催されたセミナーに出席しました。全州市の提案による初開催のセミナーであり、伝統家屋の残る世界の都市における、伝統文化の保存と振興政策を共有し、海外の観光客誘致につなげるため開催したものです。出席都市は金沢市、全州市、中国・麗江市、中国・蘇州市の4都市で、全州市の「韓国伝統文化殿堂」で行われ、金沢市は金沢の歴史文化の概要と、それらを活かした施策について発表を行いました。また、韓屋村、韓紙産業支援センター、ビビンバ祭り、南部市場などを視察しました。

### Topics

#### 全州市議会代表団が金沢市を訪問

2018年10月24日から26日の日程で、姜 東和副議長を団長とする「全州市議会代表団」一行17名が、2004年5月に「金沢市議会と全州市議会友好交流に関する協定書」に基づく定期相互訪問事業として本市を訪問しました。一行は滞在中、金沢21世紀美術館、兼六園、金沢城、加賀友禅会館、長町景観地区、ひがし茶屋街等を視察し、全州市議会との交流を深めました。

#### 金沢国際囲碁交流協会が

#### 「韓中日姉妹都市親善囲碁交流2018」大会に参加

2018年11月2日から5日の日程で、全州市において開催された「第6回韓中日姉妹都市親善囲碁交流2018」に、金沢国際囲碁交流協会から10名が参加しました。金沢市、全州市、蘇州市が互いに姉妹都市提携をしているトライアングル関係にある縁により、2010年11月に蘇州市にて初めて開催された後、3都市において囲碁を通じた交流を深めています。

# 大連【中華人民共和国】



大連工業大学の葛継平書記への表敬訪問

**提携** 2006年（平成18年） **人口** 595万人

**面積** 12,574km<sup>2</sup>

遼東半島最南端に位置し、中国東北部を代表する港湾工業都市で貿易金融の中心都市。総延長1,900kmにおよぶ美しい海岸線と起伏に富んだ地形に恵まれ風光明媚で活力溢れたファッションとサッカーをイメージした観光戦略都市でもある。

また、従来の船舶・鉄道車両などの工業基地に加え、郊外に位置する「大連金普新区」を中心に、3,300社以上の日系企業が進出しており、先端技術の発展を目指した国際都市の建設に邁進している。

## 金沢美術工芸大学が大連工業大学へ 教員と学生を派遣

2018年9月26日から29日まで、大連工業大学へ金沢美術工芸大学より、2名の教員（村山祐子准教授、稲垣健志准教授）、3名の学生（笠原茉姫、佐藤光沙子、山田華緒李）、金沢市国際交流員（丁曉婷）の計6名を派遣しました。これは、2017年5月に大連工業大学と金沢美術工芸大学の間で締結された交流協定に基づき、大学間交流の拡大・深化を図ることを目的としています。

現地では、大連工業大学の葛継平書記への表敬訪問を行ったほか、大連工業大学設立60周年式典へ出席しました。表敬訪問では、2017年11月23日から12月3日まで金沢21世紀美術館にて開催された「大連工業大学・金沢美術工芸大学交流展」についての懇談も行いました。

また、中日学生ファッションデザインフォーラムでは、派遣された金沢美術工芸大学の学生3名、大連工業大学の学生6名が各自の研究についてプレゼンテーションを行い、それぞれの発表内容について、発表者や聴講生と活発な意見交換がなされ、実りある訪問となりました。



中日学生ファッションデザインフォーラムでのプレゼンテーション

## 海外教育派遣研修のため大連市を訪問

海外での教育事情を視察するため、高村政博・金沢市教育委員会教育次長を団長に、市内小中学校の教員等からなる「金沢市海外教育派遣研修団」一行6名が、2018年10月6日から10日の日程で大連市を訪問しました。この事業は、金沢市立学校の中堅教員を大連市へ派遣し、プログラミング教育やICTを活用した教育等の視察を通して友好を深めるとともに、実践的指導力の向上を図り、グローバル化に対応した人材を育成することを目的に、金沢市教育委員会が2004年度

から毎年実施し、今回で15回目となりました。滞在中、大連市実験小学校には教育友好校である明成小学校が、大連市中山実験中学校には教育友好校である城南中学校が、同校児童・生徒の美術作品を贈呈しました。

その他、一行は、大連教育学院や大連大学、小中学校等を視察しました。

## 大連国際マラソン大会参加で マラソン相互交流

2018年5月13日に開催された「第31回大連国際マラソン大会」に、松本彰・石川県陸上競技協会副会長を団長とする金沢市選手団4名が5月11日から14日の日程で訪問しました。

これは、2016年6月に友好交流都市提携10周年に締結された「友好交流の更なる発展、スポーツ交流の推進にかかる合意書」に基づくスポーツ交流の一環で、3年連続の参加になります。

レースには、約3万人が参加し、海沿いのコースのため、強風が吹くなか、男子フルマラソンに出場した田中寛之選手（金沢マラソン2017・男子16位）は、2時間32分23秒（16位）でゴールしました。また、女子フルマラソンに出場した折戸小百合選手（金沢マラソン2016・女子21位）は、3時間13分44秒（21位）でゴールしました。両選手とも金沢マラソンをPRしながら走りきり、好成績を収めました。



金沢マラソンをPRする金沢市選手団

### Topics

#### 「中日平和友好条約締結40周年記念式典」に 山野市長がメッセージを送付

2018年12月7日、大連市において、大連市主催の「中日平和友好条約締結40周年記念式典」がおこなわれ、山野市長よりお祝いのメッセージが贈られました。

## 「かなざわ国際交流まつり2018」開催

2018年10月13日から14日に金沢市役所庁舎前広場にて「国際交流まつり2018」を開催しました。市内・県内から多くの国際交流関係団体（45団体）及び石川中央都市圏の自治体（4市2町）が参加し、2日間で約15,000人の方々に来場いただきました。

今回のまつりには、金沢市・中国・ハルビン市と共に2018年の「東アジア文化都市」に選定された韓国・釜山広域市が特別参加しました。「韓国伝統楽器フュージョン」と題したステージ、釜山の魅力を紹介するブース、韓服試着体験や小物づくりなど様々な韓国文化体験イベントに、多くの来場者が訪れました。

北陸最大級の国際交流イベントであるこのまつりは、市民が世界の文化、国際協力活動などに身近にふれあい、親しむことで、国際理解や市民レベルの国際交流を促進するとともに、金沢で暮らす外国人市民と日本人市民が同じ地域社会の一員として相互理解や交流を深めることにつながる機会を提供していくことを目的に開催しています。

世界の食べ物やスイーツが味わえる「ワールドグルメコーナー」では、金沢に暮らす中国、韓国、インドネシア、ベトナム、ミャンマーなど様々な国の出身の方々が、本場の味を提供しました。「ワールドステージ」は、伝統楽器を使った演奏や海外にルーツを持つダンスなど多彩な演目に、大人も子どもも参加して、2日間にわたって繰り広げられました。

また石川中央都市圏の自治体（4市2町）が参加したコーナーでは、各市町で活躍する様々な国出身の国際交流員が文化紹介やイベントを実施しました。来場者は五感を使って、多様な文化に触れ、相互交流を深めていました。



ワールドステージ



釜山広域市特別ブース



国際交流員による文化紹介



来場者でにぎわう会場

## 国際交流員による国際理解講座

金沢市には、アメリカ・ベルギー・フランス・中国・韓国出身の5名の国際交流員が在籍しています。姉妹都市交流に関する業務に加えて、地域レベルでの国際理解の醸成を図ることを目的として、出身国の言語・料理・季節行事等に関する講座や姉妹都市に関する講座を開催しています。また、金沢市内の小中学校や地域団体への講師派遣も随時行っています。

- ・ 4月17日（木）  
「フランスのイースター料理教室」（参加者15名）
- ・ 5月8日（火）、15日（火）、22日（火）  
「シニアのための金沢観光初級英会話」（受講者18名）
- ・ 6月12日（火）、19日（火）、26日（火）  
「話してみよう！初めてのフランス語」（受講者18名）
- ・ 8月10日（金）  
「暑さに負けず食欲増進！夏の韓国料理教室」（参加者19名）
- ・ 10月3日（水）  
「ワールドクッキング教室～中国の月餅と薬膳スープを作ろう～」  
（参加者19名）
- ・ 10月17日（水）  
「チョコレート・ワッフルから知ろう～ベルギーの魅力～」  
（参加者20名）
- ・ 12月8日（土）  
「アメリカとベルギーの楽しい冬のお祭りをお祝いしよう！」  
（参加児童17名）
- ・ 3月3日（日）  
「フランスのカーニバル『マルディグラ』のクレープ作りを楽しもう！」  
（参加親子12組）



話してみよう！初めてのフランス語



アメリカとベルギーの楽しい冬のお祭りをお祝いしよう！



暑さに負けず食欲増進！夏の韓国料理教室



ワールドクッキング教室～中国の月餅と薬膳スープを作ろう～



チョコレート・ワッフルから知ろう～ベルギーの魅力～



白山市鶴来中学校への派遣

# 国際交流ダイアリー

## 4～6月

- 4月29日～5月2日 韓国・安山市都市住宅局長ら4名 都市景観視察
- 5月8日 金沢市丸口副市長一行 「八田技師夫妻墓前祭」に参列 (台湾・台南市内)
- 5月11日 「東アジア文化都市2018釜山広域市」開幕式典に金沢市細田副市長が参加
- 5月15日 在京都フランス総領事館ジャン＝マチュー・ボネル総領事 来訪
- 5月23日 ノルバート・パラノビチ駐日ハンガリー大使 来訪
- 5月29日 韓国国土交通部職員ら13名 都市計画視察
- 6月1日 韓国・禮山郡月進会訪問団 来訪 (金沢百万石まつり視察)
- 6月2日～3日 第67回 金沢百万石まつり「盆正月」にハルビン市、釜山広域市芸能団が出演
- 6月5日 在日ベルギー大使館 イエルーン・ヴェルゲイレン公使参事官 来訪
- 6月12日 金沢市交流拠点都市推進室長 ポーランド・クラクフ市及びカトヴィツェ市ユネスコ創造都市会議に参加
- 6月22日 マリアン・トマーシク駐日スロバキア大使 来訪
- 6月22日 「東アジア文化都市2018金沢」の事業の一環として、釜山広域市で開催された「東アジア平和コンサート」に芸能団が参加

## 7～9月

- 7月23日 JICA中央アジア・コーカサス行政官15名 福祉行政視察
- 7月27日 ユースキャンプ及び交換プログラム (YCE) 事業に参加するイタリアからの学生 来訪
- 7月30日 ロシア沿海州労働組合連合児童訪日団 来訪
- 8月2日 ユースキャンプ及び交換プログラム (YCE) 事業に参加するトルコからの学生 来訪
- 8月5日 「東アジア文化都市2018金沢」の事業の一環として、ハルビン市で開催された「中日韓青少年文化芸術交流活動」に児童・生徒2名を派遣
- 8月6日 政策研究大学院大学「ヤング・リーダーズ・プログラム」に参加する海外の若手行政官ら12名 文化政策視察
- 8月6日 謝長廷台北駐日経済文化代表処代表一行 来訪
- 8月7日 「東アジア文化都市2018金沢」の一環として、ハルビン市で開催された「中日韓少年囲碁交流大会」に児童・生徒10名を派遣
- 8月10日 金沢市出身の青年海外協力隊員が帰国報告
- 8月23日～24日 韓国・釜山広域市から建築系学生5名が東アジア文化都市2018金沢「建築系学生交流事業」に参加
- 8月25日～26日 金沢アカペラタウン2018にハルビン市、釜山広域市より芸能団が参加

- 9月3日 金沢卯辰山工芸工房陶芸専門員 研修出発挨拶 (派遣都市韓国・利川市)
- 9月4日 「東アジア文化都市2018金沢」の事業の一環として、ハルビン市で開催された「中日韓太極拳交流大会」に金沢太極拳協会8名を派遣
- 9月15日～16日 金沢ジャズストリート2018に釜山広域市より芸能団が参加
- 9月17日～19日 全州市文化観光体育局長ら9名 歴史的まちなみ保存開発視察
- 9月21日 韓国・釜山市映像作家 ドキュメンタリー映画制作のため来訪

## 10～12月

- 10月12日 「東アジア文化都市2018ハルビン市」閉幕式典に金沢市細田副市長が参加
- 10月12日 「2018東アジア文化・芸術青年交流in金沢」に参加した釜山広域市の大学生 来訪
- 10月13日～14日 釜山広域市の大学生が「かなざわ国際交流まつり」に参加
- 10月22日 金沢市代表団 姉妹都市韓国・全州市「2018全州ビビンバ祭り」に出展 出発挨拶
- 10月24日 全州市議会代表団 来訪
- 10月25日 韓国・弘益大学美術大学院同窓生連合会38名 美術館視察
- 11月20日 韓国・東草市芸術文化局職員13名 観光文化施策視察
- 12月7日 「東アジア文化都市2018釜山広域市」閉幕式典に金沢市細田副市長が参加
- 12月11日 ユースキャンプ及び交換プログラム (YCE) 事業に参加するイタリアからの学生 来訪
- 12月12日 ユースキャンプ及び交換プログラム (YCE) 事業に参加するクロアチアからの学生 来訪
- 12月18日 イエルラン・パウダルベック・コジャタエフ駐日カザフスタン大使 来訪
- 12月18日 第16次蘇州市総工会業務考察訪日代表団 来訪
- 12月19日 金沢市出身の青年海外協力隊員が出発挨拶
- 12月21日 蘇州市青年連合会訪問団 来訪
- 12月26日 ウンベルト・ドナーティ伊日財団事務局長 来訪

## 1～3月

- 1月31日 中国・景德鎮市及び韓国・利川市陶芸作家アーティスト・イン・レジデンス事業のため来訪
- 2月27日 ベルギー・ゲント市よりDr.ギズランミュージアムのアネミー・カヨー館長ら5名 美術館視察
- 2月28日 在日ベルギー大使館 イエルーン・ヴェルゲイレン公使参事官 来訪
- 2月28日 在日フランス大使館 サミュエル・デュクロケ オリンピック担当アタッシュ 来訪

# 国際交流員の一年

## ヘイリー・ロスマン (アメリカ)



Hello, everyone! (皆さん、こんにちは！)

去年の8月からアメリカの国際交流員として仕事をさせて頂いているヘイリー・ロスマンと申します。私はニューヨーク市ブルックリンの出身です。金沢の姉妹都市バッファロー市とニューヨーク市は同じ州の中にあります。ずっと大都市で暮らしていたので、私は本物の「シティーガール」と言えるかもしれません。アメリカのヴァッサー大学で日本語と中国語を勉強し、3年生の時には早稲田大学に1年間留学していました。そして去年、横浜にあるアメリカ・カナダ連合日本語研究センター (IUC) で日本語の勉強を続けました。私は幼い頃からバイオリンを弾いています。しかし、音楽だけではなく、様々な芸術に関しても興味を持っていて、金沢の伝統芸術の美しさにとっても感動しています。金沢に住んでいる間に、石川の隠れた魅力をもっと分かるようになりたいです。

国際交流員として様々な分野で仕事をさせて頂いているおかげで、新しいことに挑戦する機会にも恵まれました。一例を挙げると、観光情報や国際イベント資料、

姉妹都市からの国際メールを翻訳したり、小児健診や保育園への入園相談などの場面で、日本語が話せない在住外国人のために通訳サービスを提供したりしました。また、市内中学校、図書館、公民館への訪問や市民向け講座の開催を通じて、私が生まれ育ったアメリカ北東部の文化も紹介しました。母国アメリカは多文化共生が溢れる社会であるため、金沢の皆様が多様性のメリットについて話すことを大切にしています。

文化紹介の活動に加え、国際交流イベントにも参加しました。10月には「金沢国際交流まつり2018」で、ワールドステージの司会を務めさせていただきました。また、同月に開催された金沢マラソンでは、バッファロー市代表のランナーが来沢し、私は市長表敬や盛大な歓迎会での通訳の役割を担い、兼六園や市内観光にも同行しました。責任のある仕事を任せていただき、何よりも忘れられない経験となりました。

国際交流員に就任してまだ1年も経っていませんが、様々な経験を通じて大変勉強になる毎日を過ごしています。国際交流員と金沢在住外国人の役目を通じて、アメリカと金沢の関係が強化できるよう、引き続き精一杯頑張っていきますので、皆様、何卒よろしく申し上げます。

## ベルト・コリン (ベルギー)



Hallo iedereen! (皆さん、こんにちは！) ベルギーの国際交流員、ベルト・コリンです。金沢に来て2年目ですが、今年もあっという間に過ぎていきました。37年ぶりの大雪に驚かされた後の春の新鮮さで生き返って、実り豊かな一年を過ごすことができました。充実した生活を送りつつ、金沢とベルギーとの関係での様々な仕事で活躍の機会を与えていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。

春と初夏は、翻訳や学校訪問などの派遣で盛りだくさんでしたが、真夏に一時里帰りした後、本格的に忙しくなりました。新人JET参加者向けの石川県オリエンテーションに先輩交流員として参加させていただきました。たった一年前に新人だった自分がオリエンテーションを担当するなんて、とても不思議でした。しかし、こうやって一年間の経験を伝えてみることで、自分の中でも整理するいい機会になったと思います。

オリエンテーションの翌日、国際交流員として初めて担当させていただいた「かがやき大学講座」を開催しま

した。これは、大学生・留学生・市国際交流員が交流しながら金沢町家について勉強する事業で、参加者の皆さんにとって有意義な時間になったと思います。

ようやく、夏が終わって猛暑から解放された秋にも、毎年恒例の国際交流まつりや、今年は2人のベルギー人ランナーを歓迎した金沢マラソンなど、様々な行事がありました。11月末に市長団の一員としてヨーロッパを訪れた初出張が一年のハイライトでした。4泊5日のわずかの時間で、ローマ、アントワープとナンシーの3都市で金沢の観光と文化を紹介したり、姉妹都市関係の強化を推進したりしました。新たに挑戦することがいっぱい、非常に成長できたこの機会をいただき、心から感謝しております。

実は今年7月いっぱい国際交流員としての任期を終えることになりました。これまでの経験や2年間を通して成長できたことをすべて、次のステップに向けてしっかりとつなげていきます。そして金沢の魅力も、どこにいても絶えず発信し続けます。

皆様、2年間大変お世話になりました。Dankuwel, トッツインス、そして tot ziens! (ありがとう、また会いましょう！)

## マチルダ・デュボワ (フランス)



Bonjour à tous ! Comment allez-vous ?  
(皆さんこんにちは！お元気ですか？)

フランス出身の国際交流員のマチルダ・デュボワです。なんと、着任してから5年目の半分が経とうとしています。まだまだ新人の気持ちもあり、ずっと昔からお仕事をさせていただいている気持ちもあり、時間が早いような、遅いような気分になりますね。不思議ですね。

振り返ってみると、前年に引き続き、金沢市民を対象にフランスとフランスの文化を紹介させていただきました。子どもから大人まで交流ができ、楽しかったです。

昨年の私にとっての大きな出来事は、フランス水泳連盟との東京オリンピックに関する協定締結及びその協定に基づく合宿でした。今年はフランスのウエイトリフティング連盟と協定を結ぶことになりました！そして2019年の夏に、フランスのウエイトリフティングも水泳も、東京オリンピックの事前合宿を金沢で行う予定です。機

会がありましたら、ぜひご協力をお願いいたします。

さて、皆さんのお陰で、待ちに待った金沢市とナンシー市の姉妹都市提携45周年の大きなイベントが無事に終わりました。加賀鳶はしご登りや和食や日本酒や能楽の代表団、金沢日仏協会の皆さんが、ナンシー市の最大の祭典「聖ニコラ祭」の際に、金沢の豊かな伝統文化を紹介していただきました。私は加賀鳶はしご登りの団に随行させていただきましたが、はしごの上での演技を、目を輝かせながら見ているナンシー市民の姿は一生忘れないと思います。金沢市では、百万石まつりや出初め式のときに加賀鳶の演技を見たことはありましたが、ナンシー市のスタニスラス広場という世界遺産での披露でまた新しい刺激を受けました。

これで、国際交流員としての最後の親善ニュースのコラムを終わらせていただきます。5年間どうもありがとうございました。今後とも、金沢市とナンシー市及び日仏の友好交流をよろしく願います！ Merci beaucoup !  
(ありがとうございました)

## ていぎょうてい ちゅうごく 丁曉婷 (中国)



大家好！（皆さん、こんにちは！）  
中国出身の国際交流員の丁曉婷です。また一年があつという間に過ぎました。金沢での時間も残りわずかとなりました。4月に国際交流員として

の任期を終え、次の目標に向かって進むことになりました。2016年に初めて金沢に訪れたとき、ワクワクしながら新幹線から降りたのが昨日のこのようです。3年間を振り返り、とても楽しい思い出を作ることができました。ここで出会ったみんなに感謝な気持ちでいっぱいです。

2018年はより深く金沢のことを知る一年でした。金沢ならではの食材である加賀野菜の収穫や調理、伝統銘菓「落雁」づくり、奥深い優雅な香道、大衆演劇など様々な体験を通して、今までと違う角度から金沢の魅力を感じました。また、市内の文化施設へより多くの若者に来てもらうために、加賀友禅を着て文化施設を背景に動画撮影をしてSNSに投稿することで、金沢の魅力発信の一翼を担いました。

仕事の面でもとても充実した日々を送らせていただきました。市内の小・中学校訪問、市民向け文化講座、パンフレットの翻訳、同行通訳など、前年度と同じ仕事を続けると同時に、新しいことにも挑戦しました。一年間、東アジア文化都市の事業に関与させていただき、日中の間での活発な交流活動に取り組みました。8月に金沢市から蘇州市へ派遣された中学生の活動の成果を発表する「国際交流若者シンポジウム」でファシリテーターを務め、すごく良い経験となり、国際交流の楽しさと若い世代の交流の大切さを改めて感じました。また、大連市と蘇州市でそれぞれ行われたマラソン大会へ選手団の通訳として参加し、選手と一緒に金沢マラソンのPRをしてきました。これからは金沢市と蘇州市、大連市、哈爾濱市の交流がますます深化することを期待しています。

金沢のみなさん、3年間本当にいろいろお世話になりました。これからもより多くの方々に金沢の魅力を発信していきたいと思っております。またいつか会いましょう。

謝謝！（ありがとうございました）



皆さん、アンニョンハセヨ！（こ  
んにちは！）

韓国出身の国際交流員林慧娟で  
す。

陳腐な言い方ですが、時間が経つ  
のがとてもはやくて、あっという間に金沢に来てほぼ  
3年が経ちました。金沢での生活にはすっかり慣れてま  
して、今はどこのスーパーの野菜が安いか、どのパン  
屋さんのパンが美味しいかなど、生活する中で収集し  
た情報も増えました。

国際交流員としては例年以上に沢山の経験をさせて  
いただいた1年でした。今年度は、姉妹都市全州市と  
の交流で訪問団を受け入れる順番になっていたの  
で、全州市から全州市議会代表団、伝統工芸展の展示作家  
代表団、全州工業高校訪問団、マラソン参加団などの  
訪問団を迎え入れました。一番印象深かったのは、金

沢市立工業高校と全州公立工業高校間の交流です。元  
気活潑な高校生達が頑張っておぼえた相手国の言葉で  
挨拶を交わし、共通の話題を見つけ、目をキラキラさせ  
ながら交流を楽しんでいる姿から、将来、両国の心の  
距離はきっと今より縮まるだろうと感じました。

また、2018年東アジア文化都市に選定された日本金  
沢市、韓国釜山広域市、中国哈爾濱市が繰り広げた多  
彩な交流の場において、微力ながら三国の友好交流に  
貢献できた事と、その場にいらさせていただいたという  
貴重な経験をさせていただきました。

交流関係以外の仕事で、今年特別に頑張ったといえ  
るのは語学講座の仕事です。消防士と職員を対象とし  
た基礎語学講座を実施したのですが、受講対象者に合  
わせて教材を一から作る等、効果の高い講座にした  
く、一生懸命頑張りました。今回培ったノウハウをこ  
れからも有効に活用していきたいと思えます。

国際交流員4年目も頑張ります！皆さん、今年もよ  
ろしくお願いいたします！

## 自治体国際化協会派遣職員的一年



皆さん、こんにちは。2018年4月  
より、金沢市国際交流課付で一般財  
団法人自治体国際化協会（クレア）

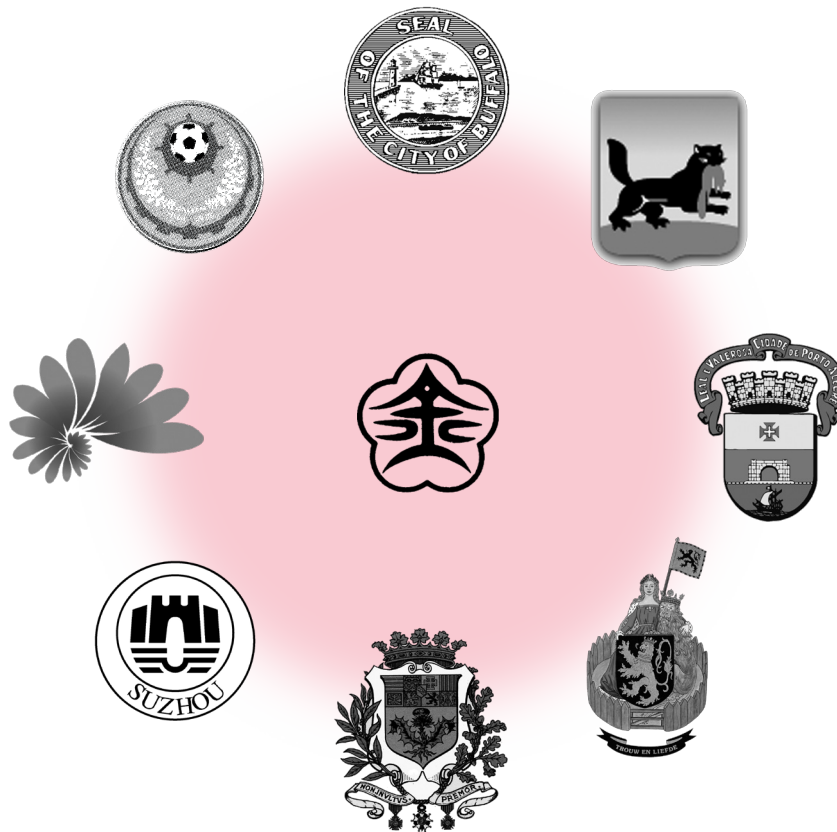
の東京本部に派遣されております池  
田志穂と申します。クレアではJET

プログラム事業部の調整課に配属され、主に研修の担  
当をしています。JETプログラム（語学指導等を行う  
外国青年招致事業）とは、世界各国から外国青年を招  
致して地方自治体等に任用し、外国語教育の充実と地  
域の国際交流推進を図る事業で、現在、5,000人を超え  
る参加者が全国で活躍しています。金沢市で活躍して  
いる5人の国際交流員と13人の外国語指導助手も実は  
JETプログラムの参加者です。金沢市でも任用団体の  
立場でJETプログラムに長く携わってきましたが、今  
回クレアに派遣され、斡旋、研修、キャリア支援など  
業務の幅広さを実感するとともに、運営側の立場とし  
て業務に携わることができ興味深く感じています。

さて、私にとって、2018年のハイライトの一つは、

山野市長の欧州訪問に同行できたことです。今回のメ  
インイベントは、フランス・ナンシー市と金沢市の姉  
妹都市提携45周年を記念して、発祥300年を迎えた加賀  
薦はしご登りや、食文化、能楽など金沢の多彩な文化  
を紹介することでした。市民の皆様に金沢の文化に直  
に触れていただき、心温まる交流ができたことは、金  
沢のファンをより増やし、45周年の長い歴史に新たな  
1ページを刻むことができたのではないかと感じてい  
ます。

私は、2019年4月より、クレアのパリ事務所に2年  
間赴任することになっています。2018年は、日仏友好  
160周年にあたり、パリを中心に日本の魅力を発信する  
「ジャポニズム2018」が開催されるなど、日仏友好の  
機運が高まっています。初めての海外生活に不安はあ  
りますが、金沢市と密な連携を取りながら、姉妹都市  
交流や2020年東京オリンピック・パラリンピックにか  
かるフランスのホストタウンとしての関連業務などに  
役立てるよう、精一杯頑張りたいと思えます。



第45号 (2018年度・平成30年度)

2019年発行

金沢市姉妹都市交流委員会

事務局：金沢市都市政策局国際交流課

TEL 076-220-2075 FAX 076-220-2069